

平成 19（2007）年度「NGO 長期スタディ・プログラム」最終報告書

氏名：寺垣ゆりや

日本側所属団体：特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

海外研修先名：国連世界食糧計画(World Food Programme-WFP)本部

研修期間： 2007 年 12 月 29 日 ～ 2008 年 3 月 26 日

研修テーマ： 援助機関における戦略的資金調達や事業評価の手法

【研修期間全般を通じて行った業務および活動】

所属した Augmented Logistics Intervention Teams for Emergencies – ALITE（緊急時対応ロジスティックス強化チーム）における、プライベート・セクター・リレーションのサポートおよび、日本企業との連携に向けた提言。また、Global Logistics Cluster Support Cell の年次計画策定のサポートおよび助言、実施中の緊急支援国（おもにアフリカ）の状況調査、在イギリスの NGO 向けクラスター・フォーラムへの出席、Logistics Bulletin の編集など。

【具体的な研修内容】

研修先機関におけるプライベート・セクターとの関係構築に対する数々のガイドライン、ポリシー、手法などを、関係部署・担当者によるブリーフィング、関連書類の確認等を通じて学び、それらを実際の企業との連携にどのように活用し、連携を実現させているかを習得した。また、研修先が課題としている日本企業との連携促進に対する助言を行うため、必要としている支援の洗い出し、日本における企業の国際貢献やCSRの実績・傾向の調査・分析を実施した。それらの調査を基にプロポーザルを作成した。（添付資料参照）

また、クラスター・アプローチに関する背景と現状の理解を深めるため、多数のミーティングに参加し、課題となっている NGO との協働に関する助言を行った。また、研修先機関がリードしているロジスティックス・クラスターに関する理解促進のためのフォーラム（研修期間中に実施されたのは、在英国およびアイルランドの NGO 向けフォーラムで、ロンドンにおいて開催された）に参加し、同様のフォーラムを日本の NGO 向けに開催することの可能性について検討した。さらに、2008 年度のビジネスプラン策定に関するサポートを行い、緊急援助の現場へ出て行ったスタッフの不在中の補佐業務を担当した。

【本研修の成果】

ジャパン・プラットフォームの存在やシステムを多くの関係者に理解してもらうことができた。また WFP および緊急援助のロジスティックス関係者とのネットワークが構築できた。さらに、体制的に対応可能な場合にのみ活動しているジャパン・プラットフォームによる緊急支援への対応方法と、支援が必要とされている緊急事態のほとんど全てに何らかの形で対応していく WFP との違い

いをまざまざと感じ、「緊急支援の現実・あるべき姿」を知ることができたと感じている。

【研修テーマや本研修で求めていたことが達成できましたか。達成できなかった場合は、その理由もお書きください。】

実際の研修の環境を鑑みると、概ね達成できたと考えている。

当初の計画から考えると、半分程度達成できたと感じているが、研修期間が3カ月間と短くなってしまったこと、経費がうまく活用できなかったことから、本部レベルでの活動に携われたのみで、現場へ出ていく機会が持てなかった。本部と現場との連携で設計された支援計画が、どのように動かされ、対応されていくのかを実際に現場レベルで経験する機会を持つことができれば、さらに高い達成感を持つことができたと思う。

また、研修期間中に10近い新規の緊急支援が開始されたことから、研修先のスタッフ数が徐々に少なくなり、スーパーバイザー不在の期間も多々あった。受身の研修生という立場ではなく、知りたいこと、やりたいことを自ら進めていくべき環境であったため、6か月間をフルに研修期間と出来れば、プライベートセクター連携の具体的な取り組みを開始する実現可能性があったと考える。

【本研修成果を自団体の能力強化にどのように活かそうと考えますか】

研修先で学ぶ機会のあった、プライベートセクターとの連携ガイドラインや企業のスクリーニングに関する方法論を、所属先での同様のシステム確立に活用する。

また、クラスター・アプローチの紹介、緊急援助の現場におけるクラスターの役割や、NGOとしてのかかわり方などをJPFに加盟するNGOに紹介し、理解を深めてもらうことで、より効率的で存在感のある日本のNGOによる緊急援助事業の促進に努めたい。

【今後の課題】※本プログラムや事務局側に対する要望等でも構いません

派遣決定から派遣先を決めるまでの時間を十分にとる

現地でかかる経費とは何を指すのか、使える費目をリスト等で提示する

月額の限度額を(1000ドルに)設定してしまうと、本部勤務の者が研修の一環としてフィールドへ出ることが困難

帰国期限、報告書提出期限、収支提出期限などは出発前から通知する

研修内容に関する英文資料の充実